

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33506	環境デザイン Environmental Design	石松 丈佳	専門	1	選択	1・2年 後期
<b>科目の概要</b>						
環境を丹念に観察することにより着想を得、造形を行う。環境の様々な資源、特質の活用に資する造形行為の重要性について理解を深める。造形行為を軸に、観察、調査、検討を行った後、まとめ、プレゼンテーションや討論を実践し「環境に潜む魅力」、「造形の魅力」、それら両者をつなぐ「知的なプロセス」を体験し理解を深める。						
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>		
① 環境について理解する ② 環境を調査する ③ デザイン力を養う ④ 環境を調査したことを分かりやすく伝える				① 環境に対する理解を深める ② 環境に対する観察力を養う ③ 美しく伝わりやすくデザインできる。 ④ コミュニケーション力が向上する		
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自分の考えを述べる				
	働きかけ力	議論において積極的に発言する。積極的に議論し、				
	実行力	議論を形にする				
考え抜く力	課題発見力	現状や現況の調査分析を行う				
	計画力	調査分析に基づき計画する				
	創造力	知見にもとづき創造する				
チームで働く力	発信力	積極的に発言し、絵やスケッチなどで人に伝える				
	傾聴力	積極的に相談する				
	柔軟性	他のアドバイスに対して柔軟にそして素直に対応する				
	状況把握力	現状について入念に調査することにより現状を把握する				
	規律性	規律を守る				
	ストレスコントロール力	ストレスを抑制するための方法を検討する				
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:特になし 参考文献:特になし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:造形系実技科目との関連が期待できる 資格との関連:特になし						
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>		
授業そのものや他者に対する敬意をもてばコミュニケーションは自ずと円滑になる。				Respect each other		

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	授業の理解度についてどれくらい学習内容を説明できるか評価します
		②	✓	
		③		
		④		
成果発表 (口頭・実技)	20	①		スケッチでの説明など、どうしたら人に分かりやすく伝えられるかの工夫を評価します。
		②		
		③	✓	
		④		
作品	40	①		作品そのものだけではなく、実際の作業状況などプロセスを評価します。
		②		
		③	✓	
		④		
社会人基礎力 (学修態度)	20	①		(主体性) 積極的に授業に参加し、課題を発見するとともに、それに基づき制作することができる (実行力) 調査内容や議論をスケッチなどの形として提案できる。 (課題発見力) 調査内容の検証や議論により課題を発見することができる (創造力) さらに良ものにするためのデザインができる (発信力) 自身のデザインの良さ、環境への貢献度を分かりやすくプレゼンテーションできる (傾聴力) 人の発表など、メモをとるなど積極的に聴く (規律性) 作業しやすい服装で参加することにより、積極的に調査することができる。時間に厳格に作業できる
		②		
		③		
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
作品の質, プロセスの充実度	授業参加度合い 作品の提出度

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション「環境とは？」	講義	授業のガイダンスと環境の捉え方について考える。イントロダクション	(予習) 環境について調べ、考える	45	傾聴力 規律性
2週 /	環境とデザイン	講義	環境とデザインの基礎 環境とデザインの関わりについて具体的事例から学ぶ	(復習) デザインについて調べる。	45	傾聴力 規律性
3週 /	基礎トレーニング 1	演習	グループを編成し調査対象地において観察と発見を行う。	(予習・復習) 学内を調査する	45	主体性 実行力
4週 /	基礎トレーニング 2	演習	基礎トレーニング 1 において得た知見をデザインに活用するアイデアを出し合うための討議を行う。	(予習) アイデアスケッチなど計画する	45	問題発見力 創造力
5週 /	基礎トレーニング 3	演習	グループごとにデザインとしてまとめ発表を行う	(予習) 発表の練習や計画を行う	45	発信力 傾聴力
6週 /	基礎トレーニング 4	演習	討議により発表内容の課題を検証する。	(予習) 課題について検討する	45	問題発見力
7週 /	本制作 1 (準備)	演習	基礎トレーニングで確認できた課題をふまえグループごとに本制作の計画を立案する。	(復習) 本制作について議論する	45	創造力 実行力
8週 /	本制作 2 (調査)	演習	調査対象値に赴き調査を行いデザインに活用可能な資源を探る	(復習) 学内を調査する	45	問題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	本制作3 (立案)	演習	調査で得られた知見をもとにグループによる討議を行い, デザインへ発展させる基本的方向を決定する	(予習・復習) 協議を行い本制作の準備を行う	45	実行力
10週 /	本制作4 (試作)	演習	試作を行いデザインの有効性を検討する	(予習) 授業で発表できるような素材を準備する	45	問題発見力
11週 /	本制作5 (制作)	演習	調査結果に基づき作品を制作する	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	主体性 実行力
12週 /	本制作6 (資料作成)	演習	作品の説明資料となるプレゼンテーションボードの制作を行う.	(復習) 授業内でできなかった部分を補う	45	創造力
13週 /	成果発表	演習	作品を発表する	(予習) 発表練習をする	45	発信力 傾聴力
14週 /	振り返り	講義	成果発表を振り返り目標の達成度と課題を確認する	(復習) 振り返りのためのメモを準備する	45	発信力 傾聴力
15週 /	まとめとレポート作成	講義	全体を振り返りレポートを作成する	(予習) レポートの内容をまとめる	45	規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力